一般質問

令和元年１２月９日、１０日の２日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。

伊達市における教育の在り方について

令和みらい　小倉拓

質問▼文部科学省が設置を推進している「幼児教育センター」の設置の可否を問う。

答弁▼北海道教育委員会が設置する「北海道幼児教育推進センター」を活用していくため、伊達市において幼児教育センターを設置する予定はない。

質問▼子育て支援を担当する部局は、健康福祉部に置かれているが、乳幼児期から児童期まで一貫した取り組みをするためには、教育委員会に移管する必要があると考えるが。

答弁▼教育委員会と健康福祉部で連携を図っているため、移管は考えていない。

質問▼伊達市として、学校教育の基本理念や、将来的な子ども像をどう捉えているか。

答弁▼自立・協働・創造を柱とした基本理念を掲げている。

質問▼幼児期から一貫した教育計画の作成が必要だと考えるが、計画策定の予定を問う。

答弁▼現在、予定はない。

●その他の質問

伊達市における図書館について

市のＳＤＧｓの取り組みについて

SDGｓについても質問しました

令和みらい

アイヌ新法について　プログラミング教育について

佐藤匡則

質問▼市内におけるアイヌの方々の現状について伺う。

答弁▼アイヌ文化の伝統継承や社会的地位の向上などを目的とした伊達アイヌ協会があり、４月現在で53世帯２０５名のアイヌの方々が活動されている。

質問▼政策推進交付金の活用について伺う。

答弁▼伊達アイヌ協会と協議を重ね、本年度末までに取りまとめ、令和２年度からの事業に活用していきたい。

質問▼このアイヌ新法の中に事業に関する項目において５つほど挙げられている中の一つに、地域内もしくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業とある。

これについて現時点でどのような計画があるか問う。

答弁▼計画の一つとして、有珠の生活館を立て直す予定をしている。

●その他の質問

プログラミング教育について

立て替えが計画されている有珠生活館

令和みらい

伊達市立図書館・だて歴史文化ミュージアム

荒井秀樹

質問▼増改築する場合の図書館の場所、施設概要を問う。

答弁▼場所については、複眼的に勘案し現在地での増改築を主に検討している。

また、現在の施設が抱えている課題を整理し、今後実施する基本設計に盛り込んでいく。

質問▼だて歴史文化ミュージアムの利用状況、ガイド育成についての考えを問う。

答弁▼開館から12月１日までの来館者数は本館と他の２施設を合わせて、延べ約３万人となっている。現在は当館学芸員とボランティアが協力しガイドをしている。知識だけでなく接遇スキルなども求められることから、まずは現状のスタッフが連携・協力を図り技術向上に努めていく。

質問▼コンパクトなまちづくりの計画、商店街の活性化や空き家の再生について問う。

答弁▼本市は人口の77％が市街化区域に居住しているなど、コンパクトなまちづくりになっているとされている。今後もコンパクト化を意識したまちづくりを進めていく。

市内に点在している空き店舗や空き家を資源と捉え、利活用して、地域の活性化を図っていく。

平成３１年４月にオープンしただて歴史文化ミュージアム

公明党

渡辺雅子（わたなべまさこ）

性暴力被害者支援について ほか

質問▼性暴力被害を受けた方が相談できる窓口や、その後の支援や体制作りは。また性暴力防止のための性教育が実施されているかを問う。

答弁▼被害者の人権と尊厳を踏みにじる極めて悪質な行為である。市として実態を把握することは困難だが、子育て支援課が窓口、また医療機関により相談を受けるケースもある。性教育に関しては、特別活動や外部講師を招いた「いのちの学習」「デートDV防止」の正しい知識理解を指導している。

質問▼プログラミング教育の現状と指導計画の作成や教職員教育は進んでいるかを問う。

答弁▼新学習指導要領が完全実施となる令和2年度に向け指導計画の作成や校内研修を進めている。教員については「伊達市プログラミング教育研修講座」を開催し理解を深めていく。

質問▼西いぶり広域連合のゴミの分別について統一化するべきではないかを問う。

答弁▼市町ごとに処理施設や収集体制などの地域事情があるため、統一は困難。

性暴力被害者支援窓口と連携病院

自民クラブ

岩村和則（いわむらかずのり）

鳥獣食害対策について 買い物弱者対策について

質問▼伊達市内における被害金額の申告において、多くの農家の方が申告しておらず過少の可能性があると思うが、市の見解を問う。

答弁▼対策が進まないことから被害金額申告が過少になっていると認識する。農協や伊達市鳥獣被害防止対策協議会と連携し協力を求めたい。

質問▼今後の対策にて、各地区の営農者や猟友会会員で作る個体数減少を目指す、プロジェクトチームを協議会の専門部会として作る考えは無いか問う。

答弁▼色々なやり方はあるが北海道猟友会の協力も視野に入れ、今後も駆除活動を継続する一方、市町村単位の駆除には限界があることから、北海道の広域性を考慮した対策の要望を継続していく。

質問▼買い物弱者地域に行政主導型の店舗開発を行う考えがあるか問う。

答弁▼地域の機運で誕生し、継続性、採算性のあるものが良い。市の主導より地域主導が望ましい。

有害鳥獣による食害（有珠地区）

子ども・子育て支援と自治会について

公明党　大光力

質問▼第1期伊達市子ども・子育て支援事業計画の成果と課題について問う。

答弁▼おおむね計画どおりに実施できたと考えており、特に、ひまわり保育所の供用開始により、待機児童については大きく改善できたと認識している。

一方では、保育士の確保が困難であることから引き続き人材確保に努めていく。

質問▼第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画の方向性について問う。

答弁▼基本的には第1期計画の内容を踏襲することとして第2期計画は、今後の少子化に対応した子育て環境の一層の充実に資する計画にしたいと考える。

質問▼今後の自治会のあり方について問う。

答弁▼自治会が抱える課題は多いと認識しているが、自主的な取り組みが今後も継続されるよう、市としても支援してまいりたい。

子ども・子育て支援事業計画表紙

要介護1・2の総合支援事業移行は制度を歪めるのでは

無会派　吉野英雄

質問▼平成26年の改正で要支援1・2が総合支援事業に移行した。市の対応の現状は。

答弁▼これまで通りのサービス事業を緩和した市の独自事業を実施している。

質問▼国は要介護1・2を介護保険から外し、市町の総合支援事業に移行、ケアプランの有料化を検討と聞くが。

答弁▼移行は断念したと聞いている。ケアプラン有料化は情報を得ていない。

質問▼ごみ処理施設大型化でゴミの分別、3R意識を再度喚起する必要性はないか。

答弁▼ゴミの分別、3Rに関する意識の醸成に努めたい。

質問▼児童・生徒のひきこもりの実態と対策は。

答弁▼10月末で5名。関係機関と連携し支援を続けたい。

介護保険制度はどうなる?

伊達大滝ロングトレイルについて

無会派　洞口雅章（ほらぐちまさゆき）

質問▼一昨年の一般質問で市民の健康増進と観光客誘致の観点から市内ウォーキングコースの整備について伺い、本年十月に伊達百五十年記念事業実行委員会が「伊達大滝※ロングトレイルガイド」、だて観光協会が「だてまち歩きガイドマップ」を作成し配布を始めたとの報告を受けた。実行委員会は本年度で解散するがロングトレイルの事業継承について伺う。

　また、同ロングトレイルとまち歩きガイドマップの今後の課題と整備計画について伺う。

答弁▼ロングトレイル事業は、だて観光協会に事業を継承するための協議を進めている。情報発信は観光協会が、トイレ等を含む施設整備は全体像を見極めながら市が担っていく。世界遺産を目指す北黄金と観光資源の多い有珠から整備を進める。だてまち歩きガイドマップは、福祉・観光・教育等の施策への活用を考えていく。

（※ロングトレイルとは、登山道や、自然散策路、里山のあぜ道、ときには車道などを歩きながら、その地域の自然・歴史・文化に触れることです。）

各コースのガイドマップ

豆知識（まめちしき）

【指定管理者制度とは？】

●市議会の議決を経て、公の施設の管理、運営を幅広い団体に委ねることができる制度。

　その目的は多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、経費の削減等を図ることである。

【期待できる効果】

●民間事業者のノウハウを活用することにより、管理経費の縮減が期待できる。

　より多くの利用者を確保しようとする民間事業者の力を活用することで、利用の満足度やサービスが向上する。

　最終的な責任は市が負うことになっており、基本的なことに関しても市が決定するので、適正な管理は確保されている